

| | | | | | | | |
|------|----------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | チームコミュニケーション技術 | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 下山 久之 | | | | | | |
| 授業形態 | 演習 | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 4334 |

●授業のテーマ

チームや多職種協働に必要なコミュニケーション能力を身につける

●到達目標

記録の作成と、それに伴う情報の共有化ができる。

チームにおける報告等の方法、及びチームや多職種協働における介護の方法を理解し、そこで行われるコミュニケーションを理解する。

●学習内容(授業概要)

記録の方法と情報の共有化、チームにおける報告等の方法、相談とスーパービジョン、会議の方法と会議におけるコミュニケーションなど。

●学習内容(授業計画)

《後期》

1. チームのコミュニケーション
2. ・記録①
介護における記録の意義と目的、介護における記録の種類
3. ・記録②
記録の書き方の留意点、記録の活用、情報の保護と管理
4. ・記録③
記録の書き方の実際①（実習中の日誌の振り返り）
5. ・記録④
記録の書き方の実際②（実習中の日誌の振り返り）
6. ・記録⑤
記録の書き方の実際③（実習中の日誌の振り返り）
7. ・記録⑥
実習日誌を書く目的、実習目標の立て方
8. ・報告・連絡・相談①
報告・連絡・相談の意義と目的
9. ・報告・連絡・相談②
報告・連絡・相談の留意点、報告・連絡・相談の実際①
10. ・報告・連絡・相談③
報告・連絡・相談の実際②
11. ・会議①
会議の意義と目的、会議の種類と運用
12. ・会議②
実習中のケアカンファレンスの仕方を学ぶ①
13. ・会議③
実習中のケアカンファレンスの仕方を学ぶ②
14. ・スーパービジョン
スーパービジョンの3つの機能

15. 授業内試験

まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回、次回のテーマに即した課題を出します。
その課題に取り組み、次の授業の初めに提出すること。
その講義の終了後、振り返りの課題を出します。
その課題に取り組み、次の講義の初めに提出すること。

●成績評価方法・基準

課題 20%、小テスト 20%、試験 60%

●テキスト（必携）

新・介護福祉士養成講座5「コミュニケーション技術」介護福祉士養成講座編集委員会、中央法規

●参考文献／その他

適宜紹介します。

●履修上の注意

プリントはファイルしておくこと。